

Title	史學研究會報告
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1951
Jtitle	史学 Vol.24, No.4 (1951. 4) ,p.154(594)- 159(599)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	彙報
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19510400-0154">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19510400-0154</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

### 史學研究會報告

#### 第三六七回例會 新入生歡迎會

昭和廿三年五月六日午後二時 於學生喫茶室

「歴史の方法に就ての斷想」

淺子勝二郎氏

#### 第三六八回例會

昭和廿三年六月三日午後二時二〇分 於七四番教室

「言語及び神話より見たる古代東亞」

松本信廣氏

代讀 和田博徳氏

「ニューディール政策の理念に關する若干考察」

——主として反トラスト的問題より見たる——」

坂本周作君

「一條兼良とその思想についての一考察」

——樵談治要を中心として——」

松井千惠君

#### 第三六九回例會

昭和廿和年六月十日午後二時三〇分 於七四番教室

「初期日普通交史の研究について」

今宮 新氏

「英國市民社會の發展——市民革命を中心として——」

齋藤 精君

「古代に於る末子相續制」

中島元二君

#### 第三七〇回例會

昭和廿三年六月廿四日午後二時三〇分 於七四番教室

「西王母傳説について」

齋藤雅文君

「伴部の問題」

高嶺南見夫君

#### 第三七一回例會

昭和廿三年七月八日午後二時廿分 於四番教室

「アジア洲の形成」

森 馨氏

「十七八世紀の露支交渉の宗教的問題について」

谷 明君

第三七二回例会

昭和廿三年十月四日午後二時廿分 於五四番教室

「恭仁京に就いて」

清水潤三氏

「遊女の發生的考察に就いて」

酒井 清君

「十六十七世紀に於るハンザ同盟の没落について」

石河 健君

第三七三回例会

昭和廿三年十一月四日午後二時廿分 於七七番教室

「オストラキスモス論考」

森岡敬一郎氏

「セント・ヘレナに於けるナポレオン」

小林義郎君

「江戸中期に於ける農民生活の一考察」

椎野賢次君

第三七四回例会

昭和廿三年十一月十一日午後一時 於六七番教室

「封建制度について」

大類 伸氏

「アメリカに於ける連邦主義」

立松寛子君

「元祿期江戸文化」

吉川虎雄君

第三七五回例会

昭和廿三年十一月廿四日午後二時二〇分 於六四番教室

「封建制度の構成要素としての個人的忠誠に對する一考察」

近山金次氏

「鎌倉時代に於る二重政治機構」

關 恒世君

第三七六回例会

昭和廿三年十二月九日午後二時半 於演說館

「支那の史料から見た日本上代史の一斷面」

岩井大巖氏

第三七七回例会

卒業生論文發表並送別會

昭和廿四年二月十二日午後一時半 於喫茶室

「台灣の現状に就て」

宮本延人氏

「一條兼良とその政治思想について」

——樵談治要を中心として——」

松井千恵君

「第一次大戦前に於る英獨關係について」

石河 健君

「十七八世紀に於る露支交渉の宗教的な關係」

谷 明君

「英國に於る市民社會の發展に就いて」

——特に十六十七世紀市民革命を中心として——」

齋藤 精君

### 第三七八回例會 新入生歡迎會

昭和廿四年五月十四日午後二時 於喫茶室

「ジョルジュ・ルフェーヴルの『フランス革命』をめぐつて」

鈴木泰平氏

### 第三七九回例會

昭和廿四年六月一日午後一時 於三番教室

「千葉縣安房郡豐田村遺蹟に就いて」

江坂輝彌氏

「最近のドイツ史學に關する報告論文の紹介」

本郷廣太郎君

### 第三八〇回例會

昭和廿四年六月廿九日午後二時半 於三番教室

「もめん栽培史に於ける一考察」

西岡秀雄氏

「文學史に於ける方法考察」

吉川虎雄君

### 第三八一回例會

昭和廿四年十月十九日午後一時 於四二番教室

「おもにもせ、あれにもせ」

——古代に於ける近親婚について——」

松本芳夫氏

「日本古代的村落の形成に就いて」

品田喜一君

### 第三八二回例會

昭和廿四年十一月三日午後零時半 於二〇四番教室

「唐代の士族に關する一考察」

竹田龍兒氏

「古代中亞に於る自然環境と民族移動に就いて」

畑田 穰君

### 第三八三回例會

昭和廿四年十二月十四日午後一時 於四八番教室

「福澤先生攻撃論」

——特に明治十五六年を中心として——

昆野和七氏

「ベンヴェヌト・チエルリニの自叙傳に就て」

土屋闌之助君

### 第三八四回例會

昭和廿五年二月一日十二時半 於一〇五番教室

「下北半島に於る考古學的調査」

江坂輝彌氏

「チャーチズムに就て」

大川初雄君

「合衆國史上に於る轉換期としてのスペイン戦争」

若菜 正君

### 第三八五回例會 卒業生送別會

昭和廿五年二月廿四日午後一時 於學生ホール會議室

「ベンヴェヌト・チエルリニの生涯」

土屋闌之助君

「ナポレオンとその第一期」

小林義郎君

「匈奴とフン」

畑田 穰君

「中國古代文化形成の一断面」

齋藤雅文君

「堀辰雄に現れた新感覺派文學の發展について」

吉川虎雄君

「ドイツ國民國家思想の胎動について」

本郷廣太郎君

### 第三八六回例會 新入生歡迎會

昭和廿五年四月廿八日 於喫茶室

「福澤諭吉の『西洋事情』」

間崎万里氏

### 第三八七回例會

昭和廿五年五月十一日午後三時 於喫茶室

「村川堅太郎氏を圍む座談」

「フィリップ二世とネーデルランド」

金子富司男君

第三八八回例會

昭和廿五年五月廿四日午後一時 於三番教室

「能の發生」

岩田佐紀子君

「殷代の氣候について」

第三九一回例會 卒業生送別會

昭和廿五年九月廿日午後一時 於六番教室

中井芳雄君

「歐洲に於ける最初の日本人」

「アリストテレスの生涯とその國家觀」

岩谷十二郎君

富田駒吉君

第三八九回例會

昭和廿五年六月十四日午後一時 於三番教室

「フィリップ二世とネザーランドの離叛」

金子富司男君

「日本神話に於ける宇宙の形成」

「合衆國發展史上に於ける邊境の意義」

光益昭郎君

松本信廣氏

「カナダに於ける一八三七年のリベリオン」

西尾忠國君

「カール・ベッカー H・G・ウエルズと新史觀」

加賀美久夫君

「歐洲に於る最初の日本人」

岩谷十二郎君

第三九〇回例會

昭和廿五年七月六日午後一時 於四六番教室

「南亞に於ける自治領の成立」

朝久野昭司君

「大寶律令と養老律令」

「ジョン・ウエスレーの影像」

坂本太郎氏

武島道矩君

「アメリカ婦人の権利について」

阿部 紀子君

「猿樂能發生より室町時代に至る一考察」

岩田 佐紀子君

「キケロの政治行動とその時代性」

神崎はま子君

「ドイツ手工業成立の一展望」

町田 寛君

「詩經を中心として見た中國古代漁業の形態」

中井 芳雄君

「東晋の南渡に關する一考察」

堀越 精一郎君

「飛驒國交通路より見たる戰國時代の群雄割據について」

安樂城 二郎君

「十六世紀に於るスペイン音樂の史的考察」

高嶺 巖君

### 第三九二回例會

昭和廿五年十一月廿五日午後一時 於十番教室

「古代に於ける舟の發達について」

松本 信廣氏

「ギリシヤに於ける人間の反省」

原 隨園氏

### 第三九三回例會

昭和廿五年十二月二日午後一時 於十番教室

「青森縣龜ヶ岡遺跡發掘報告」

藤田 亮策氏

### 第三九四回例會

昭和廿五年十二月十三日 於三番教室

「福井縣武生市茶白山古墳發掘調査」

清水 潤三氏

「シユートルム・ウント・ドラングとロマンティックとの關係」

高橋 巖君

「新井白石のキリシタン批判」

——西洋紀聞を中心として——

今井 多似君

「イネズ・ドボークレール氏『大理地名考』」

林 和男君